

8. 印象採得 (寒天アルジネート印象)



8. 印象採得（寒天アルジネート印象）

<到達目標>

- ・ 歯科医師の指示に従うことができる
- ・ ステップ毎に報告できる
- ・ 必要器材を的確に準備できる
- ・ 適切な印象用トレーを選択できる
- ・ トレーを試適できる
- ・ 印象用トレーの適合状態を判断できる
- ・ アルジネート印象材の粉・水の量が適量である
- ・ スパチュラを正しく把持できる
- ・ アルジネート印象材を正しく練和できる
- ・ 練和した印象材をトレーへなめらかに盛り上げられる
- ・ 寒天印象材を正しくシリンジにセットできる
- ・ 寒天印象材を患歯に正しく流すことができる
- ・ トレーを口腔内へスムーズに挿入できる
- ・ 口腔粘膜の排除ができる
- ・ 正しい位置でトレーを圧接・保持できている
- ・ 硬化後、トレーを正しく撤去できる
- ・ 必要な部分の印象が的確に採得できる
- ・ 患者の不快感に配慮できる
- ・ 印象採得後の患者のフォローができている

<設定場面>

右上5のFCK用の窩洞形成後、同部の印象採得を行うことになった。今回は寒天アルジネート連合印象とする。患者は、印象採得に対し苦手意識を持っている。

<治療手順>

1. 患者の誘導と説明

歯科医師：衛生士・助手に本日の内容を伝え、患者の誘導と説明を指示する。

助手：患者をチェアに誘導する。必要器具を準備する。

衛生士：処置内容を説明する。

2. 口腔清掃 必要器材：ワセリン

歯科医師：窩洞形成後、右上5の印象採得を衛生士に指示する。

衛生士：うがいを指示する。

衛生士：口角・口唇にはワセリンなどを薄く塗っておく。

患者：印象採得が苦手なことを伝える。

3. トレーの選択と試適 必要器材：アルジネート用網トレー

衛生士：患者の歯列に適合するトレーを選択しておく。

衛生士：口腔内に試適し、適合状態を確認する。

4. アルジネート印象材の計量と錬和

A. 練和器使用の場合 必要器材：練和器、20℃の水、計量カップ、アルジネート用スパチュラ、

助手：計量した水と印象材を入れて、なじませる。

助手：スパチュラを入れて、ラバーボールをまわし錬和する。

この際、気泡が入らないように練り上げる。

助手：錬和したアルジネートをトレー内面に盛り上げ、表面をなめらかに整える。

B. 手錬和の場合 必要器材：錬和器、20℃の水、計量カップ、アルジネート用スパチュラ、

助手：水と印象材を計量してラバーボールに入れ、粉末をなじませたのち、素早くスパチュラを回転させペースト状になるように練り上げる（約30秒）この際、気泡が入らないようにする。

助手：錬和したアルジネートをトレー内面に盛り上げ、表面をなめらかに整える。

衛生士：練和中に歯列をエアーシリンジで乾燥しておく。

5. 寒天印象材の準備 必要器材：寒天印象材、寒天印象材用シリンジ

助手：寒天印象剤をシリンジに挿入する。

6. 印象 必要器材：ティッシュペーパー

衛生士：患歯に寒天印象材を流してから、トレーを口腔内に挿入し、硬化までトレーを保持する。

衛生士：完全な硬化を確認後、トレーを口腔内から取り出す。

助手：トレーが外れにくい場合はトレー辺縁にエアーを吹き付けて、術者のトレー撤去を容易にする。

衛生士：患者に口をゆすいでもらう。

衛生士：顔に付着している印象材を水にぬらしたティッシュで患者に落としてもらう。

助手：採得した印象をさっと流水で洗う。

歯科医師：印象が的確に採得できているかどうかを確認し、できていれば本日の診療終了を指示する。

衛生士：記録帳へ記入する。

7. 後処理と石膏注入 必要器材：石膏、メス、保存箱

助手：トレーからはみ出した印象材の不要部分をメスで切除して辺縁処理を行い、消毒したのち石膏を注入して湿度の高い保存箱の中で硬化させる。

助手：診療後の後片付けをする。

8. 印象採得（寒天アルジネート印象材）

必要器材

①ワセリン ②アルジネート用網トレイ ③練和器 ④20℃の水 ⑤計量カップ ⑥アルジネート用スパチュラ ⑦ラバーボール ⑧寒天印象材 ⑨寒天印象材用シリンジ ⑩ティッシュペーパー ⑪石膏 ⑫メス ⑬保存箱

8. 印象採得 (寒天アルジネート印象材)



